

# 施策分析シート

No1

施策名	国内・海外都市との交流の推進	施策No	05-02	部課名	区民生活部文化交流推進課	
				課長名	大口康男 内線 2520	
関連部課名						
行政評価事業体系	分野	産業・教育・文化				
	政策	芸術・文化の振興と交流				
目的	魅力ある荒川区と活力に満ちた区民生活を実現するため、国内・海外都市との幅広い交流を積極的に推進する。					
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(28年度)	
	① 交流都市に対する区民の認知度	—	—	—	50%	区政世論調査、又は川の手荒川まつり等のイベントにおいて、定期的に調査する
	② 交流事業の認知度と評価	—	—	—	50%	同上
	③ 交流都市への区民の訪問状況	28,662	26,651	—	30,000	バスツアー、施設利用、合宿、青少年農・漁業体験事業等の実績数
④ 国際交流協会会員数	416	447	—	900	賛助会員数+協力会員数	
現状と課題	<p>1 現在、国内16都市、海外4都市との間で交流が行われている。国内では、埼玉県秩父市（昭和56年、旧荒川村）と姉妹都市提携を結び、千葉県鴨川市（平成3年）、同大多喜町（平成7年）と友好都市提携を結んでいる。海外では、ウィーン市ドナウシュタット区（平成8年）と友好都市提携を結んでいる。</p> <p>2 最近では、平成17年11月に策定した「都市間交流に関する取り組み方針」に基づき、平成18年2月に韓国済州市、翌3月には中国大連市中山区とそれぞれ友好都市提携を結び、文化・芸術、産業・観光、スポーツ、青少年など幅広い分野にわたって、相互に連携を進めていくことにしている。</p> <p>3 他の都市との間においても、イベントへの相互参加や災害時相互支援協定の締結など多様な交流を行っているほか、常磐線沿線都市がアートを通じて相互に活性化を図ろうとするJOBANアートライン、つくばエクスプレスを縁に産業、観光面での交流をめざすつくば市、ここ数年、教育面での交流を重ねている北京市の紹介による通州区などは、個別分野での交流を行っている。</p>					
今後の方向性	<p>1 現在、交流のある16都市とは、それぞれの都市ごとに交流の展望や目標を明確にしつつ、継続的かつ具体的な交流事業を行っていく。</p> <p>2 個別分野で交流のある都市とも、交流の深まりや相手都市の意向等を十分にふまえ、幅広い交流につなげていく。</p> <p>3 都市間交流を積極的に展開するための庁内組織及び推進体制の拡充を図る。</p> <p>4 区民の多文化共生意識を育むため、荒川区国際交流協会に対する支援を強化する。</p>					

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
A	荒川区の魅力と活力を高める都市間交流を広く推進していく必要がある。

# 施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進の ための優先 度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
姉妹・友好都市交流	03-02-02	535	238	A	いずれも、都市間交流を幅広くかつ積極的に推進するために欠かせない事業であり、優先度は高い。
国際交流協会補助	03-02-03	3,630	4,864	A	
海外渉外事業	03-02-04	2,573	9,208	A	
合 計		6,738	14,310		